

平成 22 年 10 月 26 日
原子力安全対策課
(2 2 - 6 5)
< 18 時 15 分記者発表 >

美浜発電所 2 号機の定期検査状況について (調整運転中における電気出力の変動)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所 2 号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力 50 万 kW）は、第 26 回定期検査中のところ、10 月 25 日 18 時 57 分に調整運転を開始し、本日 26 日 9 時 20 分に電気出力約 30%となった。

電気出力を約 30%で保持して運転中の本日 15 時 15 分頃に、2 次系にある高圧給水加熱器^{*1} のドレン水を系統外への排出から復水器への回収に切り替える^{*2}ために、弁操作を実施していたところ、復水器の真空度が低下（約 98kPa→約 82kPa）し、これに伴い電気出力が約 22%に低下した。

直ちに、当該操作を中止するとともに、復水器の真空度低下により復水器真空ポンプ 2 台が自動起動し、15 時 51 分に復水器真空度および電気出力は事象発生前の状態（約 98kPa、約 30%）に復帰した。

現在、復水器真空度が低下した原因について調査中である。これまでの調査では、当該系統の目視点検で漏れ等の異常は認められていない。

この事象による周辺環境への放射能の影響はない。

* 1：蒸気発生器への給水を、高圧タービンを回した後の蒸気の一部を用いて加熱する機器

* 2：高圧タービンを回した後の蒸気の一部を高圧給水加熱器に回し、給水を加熱させると、蒸気が凝縮してドレン水（高圧給水ヒータドレン）になる。ドレン水は、原子炉起動当初は水質（鉄などの不純物濃度）が基準を満足しないため、系統外に放出しているが、運転に伴い水質が基準を満足する状態になれば、復水器に回収している。

問い合わせ先（担当：有房）
内線 2353・直通 0776(20)0314

調整運転中における電気出力の変動

系統概要図

